



東北の純き心を誇りとし～ ♪

# 一商だより

校訓  
奉 自 誠  
仕 律 実

一商  
ギャラリー

## 生徒実習作品① テーマ『一迫の春』



春の一迫に咲く植物・景色をどう伝えるかを考えながら、一迫の豊かな景色を伝えたいと思った。目にとまるようなユニークな形にした。



人口減少や商店街の衰退が進む中でも季節は確かに巡り春の光がそっと差し込むように再生の兆しや小さな希望を表現した。



一迫の春を感じさせる真っ赤な花をメインに、多くのみなさんに一迫へ行ってみようと思うような魅力をしっかり伝えたいと思い作成した。



一迫の春の町並みに咲く多くの鮮やかな花をたくさん盛り込んだ。未来へもこの花が咲き続いてほしい願いを込めて 2030 年とした。



「まずおないん一迫さ」一迫の気取らない人や景色、動物などすべてが待っています。元気をチャージにきてほしいをいう願いを込めて。



春から夏へ向かって町の色も桃色から緑色へ変化する時期に合うように、一迫をまるごと盛り込んだ。自然と静寂を感じてほしい。



※ 掲載の作品は生徒の実習作品で、使用の写真は生徒自ら撮影し、想いを表現したものです。

《科目 課題研究 地域デザインコース》



一迫の自然な日常の風景をシンプルな言葉とともに表現した。



一迫のきれいな自然を未来にも繋げてほしいと思い表現した。この作品から実際に訪れて魅力を感じてほしい。



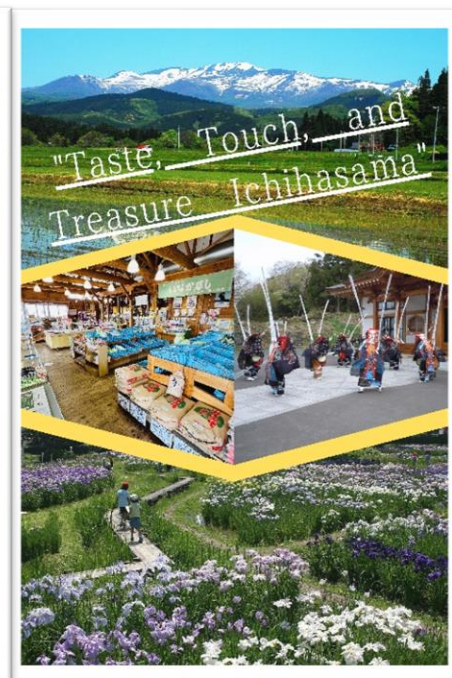
貴重な自然が無くなるかもしれないという思いで墨を入れ、一輪の花や植物を大事にしてほしいと願いを込めた。



水を張った田んぼに苗が並ぶ光景は、この地区の春の合図であり一年の始まりを知らせる風物詩。一迫の原風景を表現した。



栗駒山を背景に、畑を耕すトラクターは一迫の春ならではの光景(景色)。道路に何気なく咲く花も立ち止まりゆっくり一迫の魅力を感じてほしい



一迫から見える景色と伝統などが伝わるように作成。配置などを工夫した。



これらの作品は 一迫総合支所 に展示をしています。  
(定期的に更新しています)